

2017年12月14日

## 博報堂生活総研アセアン

### バンコクにて「アセアン生活者フォーラム」を実施

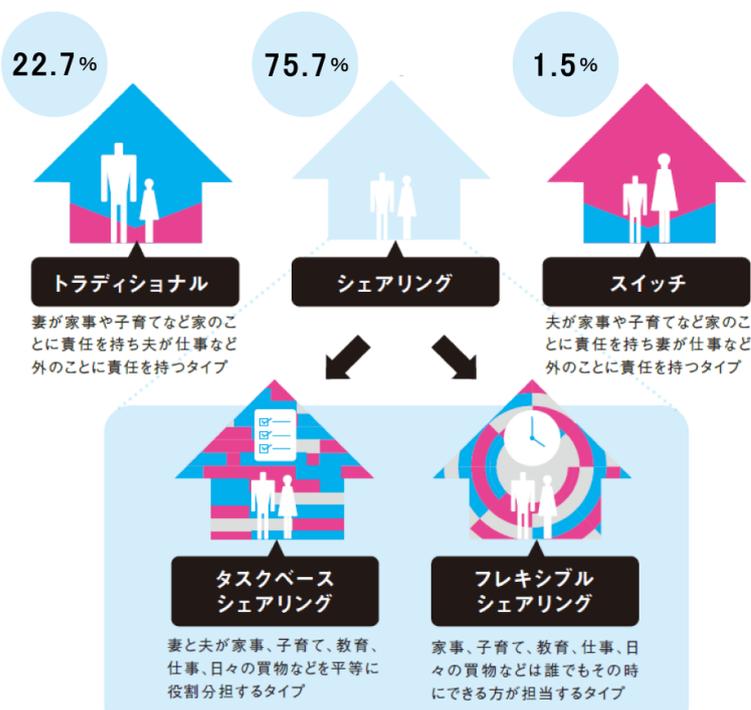
—『Gender Equality at Home』～アセアン家庭の男女平等についての新視点～を発表—

博報堂生活総合研究所アセアン（以下、博報堂生活総研アセアン）は2017年12月14日、バンコクにてアセアンの生活者に関する研究発表を行いました。今回は、『Gender Equality at Home』～アセアン家庭の男女平等についての新視点～と題し、アセアンの家庭における夫婦の家事や育児の分担、商品の購入意思決定プロセスについて説明し、企業のマーケティング活動への活用についても紹介しました。アセアンの生活者に関する研究発表は年に1度行っており、今回で4回目となります。

男女平等、いわゆるジェンダーイコリティは国際社会の中で注目を集めるテーマですが、博報堂生活総研アセアンでは、生活者の視点から、夫婦間における男女平等というテーマで研究しました。

今回の研究から、アセアンの家庭では、夫が外で働き、妻が家事・育児負担を担うという伝統的な役割分担タイプは既に22.7%と少数派である一方で、家事や子育てを平等に分担するシェアリングタイプが75.7%と主流になっていることが分かりました。またシェアリングタイプには、夫婦で家事・育児を平等に役割分担するタスクベース・シェアリングタイプと、時間があるほうが柔軟に家事・育児を担当するフレキシブル・シェアリングタイプに分類できます。なお、妻が外で働き、夫が家事・育児負担を担うスイッチタイプは1.5%でした。

世帯のタイプを役割分担で分類



シェアリングタイプが多い背景要因には、アセアンで男女共稼ぎの家庭が 8 割以上になっていること、アセアン社会における女性の地位向上がはかられつつあること、技術革新により家事・育児の参考になる情報が得られやすくなっていること、が挙げられます。また、役割分担のタイプ（①トラディショナルタイプ、②タスクベース・シェアリングタイプ、③フレキシブル・シェアリングタイプ、④スイッチタイプ）によって役割分担の満足度が異なり、特にタスクベース・シェアリングタイプの満足度が高い点や、購買意思決定プロセスが異なる傾向があることを解き明かしました。

発表の詳細は、博報堂生活総研アセアンのウェブサイト (<http://www.hillasean.com/>) をご覧ください。



今後も博報堂生活総研アセアンは独自の視点でアセアンの生活者を見つめ、新しい角度からの洞察を提言していきます。

---

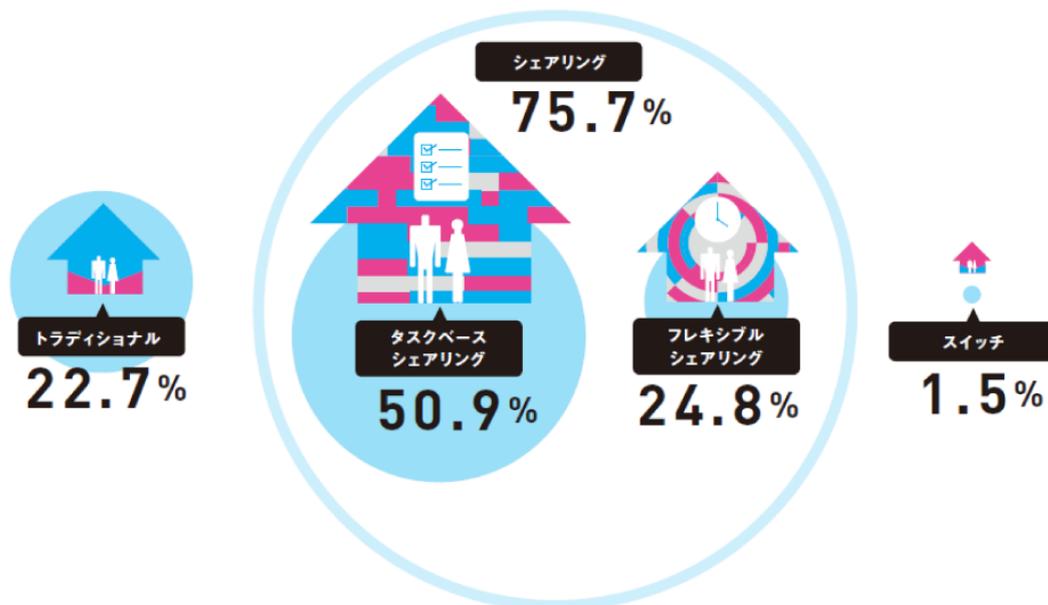
本件に関するお問い合わせ：博報堂広報室 大久保・江渡 TEL：03-6441-6161

<詳細資料>

## アセアン夫婦で主流となるシェアリングタイプ

アセアンの 3/4 の家庭は夫婦でタスクを平等に役割分担するシェアリングタイプで、夫婦で家事や子育てを平等分担するのが既に常識となっています。

家庭の役割分担実態は、もはや伝統的な男女意識には基づかない。



## シェアリングタイプが多い3つの背景要因

① 男女共稼ぎ アセアン全体で8割以上が共稼ぎ。

	夫だけが稼いでいる	夫婦共稼ぎ	夫の方が稼いでいる	夫婦同等で稼いでいる	妻の方が稼いでいる	妻だけが稼いでいる
5カ国合計	14	84	52	24	9	1
タイ	7	91	53	28	11	1
シンガポール	18	80	49	20	12	2
マレーシア	18	80	49	21	10	1
ベトナム	2	97	55	37	6	0
インドネシア	25	74	54	14	6	1

博報堂生活総研アセアン男女平等意識調査

② 女性の地位向上（仕事、交際意識の変化）。

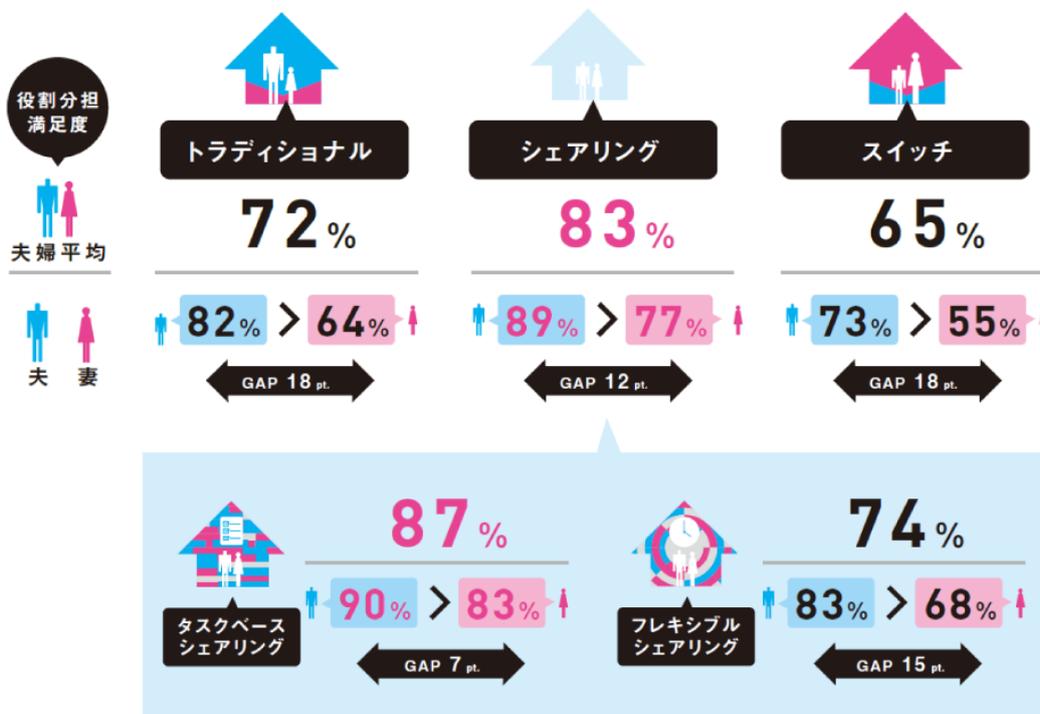


博報堂生活総研アセアン生活定点調査

③ 技術進化の手助け（仕事や育児におけるインターネットやSNSの利活用）。

**役割分担4タイプ別の満足度**

タイプごとに満足度は異なり、シェアリングタイプ（特にタスクベース）の満足度が最も高く夫婦間ギャップも小さい結果となりました。



博報堂男女平等意識調査

## 【調査概要】

### 定量調査

#### ◆博報堂生活総研アセアン男女平等意識調査

##### ネット調査

一般生活者 男女 20～49 歳（SECのA～C層を対象）

シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、ベトナム

総計 5000 サンプル（各国 1000 サンプル）

各国の人口構成に準じたサンプル割り付け

調査実施：2017年8月

#### ◆博報堂生活総研アセアン生活定点調査

##### 訪問面接調査

一般生活者 男女 15～59 歳（SECのA～D層を対象）

シンガポール、クアラルンプール（マレーシア）、バンコク、ナコンラチャシマー（タイ）、

ジャカルタ、スラバヤ（インドネシア）、ハノイ、ホーチミンシティ（ベトナム）、ヤンゴン（ミャンマー）、マニラ（フィリピン）

総計 8100 サンプル（主要7都市×900名、ナコンラチャシマー、スラバヤ、ハノイ、×600名）

各国の人口構成に準じたサンプル割り付け

調査実施：2015年12月～16年1月

### 定性調査

#### ◆博報堂生活総研アセアン家庭訪問調査

一般生活者（SECのA～C層対象）

シンガポール、クアラルンプール（マレーシア）、バンコク（タイ）、

ジャカルタ（インドネシア）、ホーチミンシティ（ベトナム）

各国6世帯（夫婦）12名 総計60名

調査実施：2017年9月

## 【博報堂生活総研アセアン】概要

2014年、アセアンの生活者を研究する企業内シンクタンクとして設立、2017年3月タイ現地法人化。アセアン生活者の洞察・提言を通し、アセアンにおける企業のマーケティング活動をサポートしています。

- 正式名称：博報堂生活総合研究所アセアン
- 英文名称：HILL ASIA Co., Ltd.
- 所長：帆刈吾郎
- 所在地：タイ・バンコク市
- 研究・活動内容：
  - ・アセアン生活者の生活定点調査「アセアン生活定点」（隔年に一度）
  - ・アセアン各国視点での調査・分析
  - ・アセアン各国でのフォーラム開催